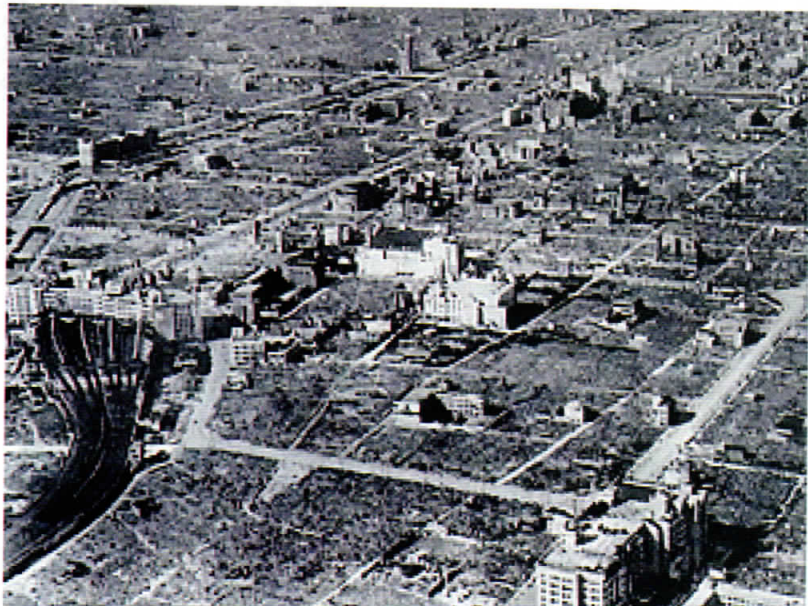


# おおさか AALA

非核・非同盟・平和・友好・連帯

今月の読み物	◇2-3面:女性デー島岡まなさんの講演
	◇3面 機関誌 600号に寄せて
	◇4-5面:5月28日総会の議案
	◇6-8面:「歴史の逆流時代の分水嶺を読み解く」

〒540-0004 大阪市中央区玉造 1-6-11 黒石ビル3F  
2023年 5月1日 No. 603



空襲後の大阪市街(1945年)

(左端は南海難波駅、右手前には松坂屋大阪店(現・高島屋東別館)、中央に大阪歌舞伎座が認められる。)



ミサイルで攻撃されるウクライナ



石垣島・自衛隊基地建設反対抗議行動

軍事力で平和は作れない！日本全土が戦場に！

軍拡反対・平和外交への声を大きく！

吉田 信夫

いま、岸田政権は、ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射実験などに対する危機意識を利用し、日米安保体制の元での日米同盟をいっそう強化し、軍事費を5年間で43兆円に、その後も国内総生産の2%以上の軍拡を続けようとしています。

エスカレートさせています。さらに射程距離の長いミサイルや誘導弾の保有と配備に向けて石垣島の自衛隊新基地建設をはじめ全国の自衛隊基地の強靱強化を推進しています。

現在年間5兆円超の軍事費は、1兆円となり、米国、中国に次ぐ世界第3位の軍事大国になろうとしています。

それは中国や北朝鮮の主な都市がすっぽり射程に入るようにするためです。沖縄を中心日本全土に報復の危険が生まれ、日本を守るためだけでなく、日本に戦争を呼び込み、国土破壊を招く結果となるのです。

軍事費の引き上げは、アメリカが同盟国に求め、23年度米国製兵器購入額は、22年度の4倍に上がり、長距離巡航ミサイル・トマホークを新たに400発購入を計画、正に米国の世界戦略と軍需産業の儲けのためです。

軍事力の強化で、平和を維持することは不可能です。いまこそ、平和憲法を守り、軍拡反対の声を広げ、あらゆる紛争を国連憲章に基づく平和的な話し合いで解決すること、地域の全ての国を包み込む平和の枠組みをつくる努力が必要ではないでしょうか。

安倍首相が憲法違反の「集団的自衛権行使」を閣議決定で強行し、それを引き継いだ岸田首相は、さらに自衛隊が敵基地攻撃能力を持ち、米軍と一体で戦うことができるように

非同盟をめざすAALAの運動の役割がいっそう重要になっていると思います。



**国際女性デー 記念集会**  
**大阪大学副学長**  
**島岡まなさんの**  
**講演(その2)**  
 堀内保孝

### ジェンダー平等を実現するために

#### 私達に何が出来るか



#### 1. 自己紹介(前号に)

**2. 日本の現状**  
 国際的に日本がどういう位置にいるのかを指摘  
 婚外子も、婚内子と同等の権利を保障、政治や司法分野に占める女性比率、セクシャルリプロダクティブ・ヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康の権利)等様々な日本の遅れを多角的に資料で示されました。(表と図)

ジェクトチームだが、男女共同参画基本計画を徹底的に骨抜きにするいきおいがあった。若年層に向けた避妊教育など、命を救う性教育が「寝た子を起すな」とつぶされ、ジェンダー論は男女の調和でなく対立を引き起こし、家庭をマイナスイメージで捉えるものとして批判されてきた。

#### 3. 何故日本がかわらないのか、かわれないのか

(1) 政治主導のバックラッシュ  
 安倍元首相が2005年に立ち上げた「過激な性教育・ジェンダーフリー教育実態調査」を思い出す。  
 旧統一協会系メディアで幾度も露出してきた山谷えり子議員も参加したたプロ

ジェクトチームだが、男女共同参画基本計画を徹底的に骨抜きにするいきおいがあった。若年層に向けた避妊教育など、命を救う性教育が「寝た子を起すな」とつぶされ、ジェンダー論は男女の調和でなく対立を引き起こし、家庭をマイナスイメージで捉えるものとして批判されてきた。

国際標準のジェンダー平等を真っ向から否定しフェミニズムが積み重ねてきたものを徹底的に崩そうとした政治主導のバックラッシュの影響は計り知れない。  
 日本のジェンダーギャップ指数が世界最低レベルなのも、他国がジェンダー平等に取り組んで来た時期、その反対を生き続けた結果といえるだろう。

統一教会を始めとするカルト宗教団体(エホバの証人、幸福の科学等)、宗教右派、日本会議等が日本のジェンダー政策にどのような影響を与えたのかこれから検証が必要になるだろう。

#### (2) 教育・メディアによるジェンダーバイアスの弊害

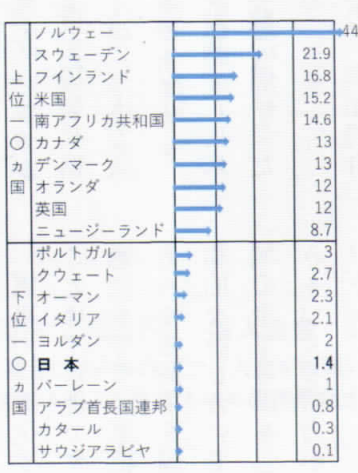
男性に支配されたメディアによるバイアスの再生産  
 2009年、9歳からフランスで育った16歳の娘が3年ぶりに来日し、テレビ番組を見て「日本のテレビってこんなに差別的なのに皆平気で見ているの? 気持ち悪くて見られない」と言い出す(フランスの教育成果)。

例  
 バラエティー番組で女性を馬鹿にする芸能人、お馬鹿キャラを演じる若い女性、男性ファンに媚びるアイドルとお金を出して握手する握手会(女性を商品扱い)、女性の性的部分を強調するアニメ、女性ばかり家事をする家電製品や洗剤、食品のCM等

#### 4 人権教育の欠如(最重要)

「他人に迷惑をかけるな」と教わる日本の子供と「他人に迷惑をかけなければ生きてゆけないハンディがある人がいる、そういう人は教育ではない。」  
 いわゆる道徳教育は人権教育ではない。

図 女性の取締役比率



出所: 女性取締役インターナショナル



表1 「ジェンダー・エンパワーメント指数」ランキング(2009)

順位	国名
1	スウェーデン
2	ノルウェー
3	フィンランド
4	デンマーク
5	オランダ
6	ベルギー
7	オーストラリア
8	アイスランド
9	ドイツ
10	ニュージーランド
中略	
51	セントルシア
52	ハンガリー
53	ガイアナ
54	ボンジュラス
55	ベネズエラ
56	キルギス
57	日本
58	スリナム
59	フィリピン
60	ロシア

出所: 国連開発計画  
 ジェンダー・エンパワーメント指数は女性の政治参加や経済界における活躍、意思決定に参加できるかどうかを表す指数。2010年からはジェンダー不平等指数に移行

表2 「ジェンダー格差指数」ランキング(2009)

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
4	スウェーデン
5	ニュージーランド
6	南アフリカ共和国
7	デンマーク
8	アイルランド
9	フィリピン
10	レソト
中略	
91	アルバニア
92	インドネシア
93	バングラディッシュ
94	ブルネイ
95	ジンバブエ
96	モーリシャス
97	ケニア
98	メキシコ
99	モリタニア共和国
100	マレーシア
101	日本

出所: 世界経済フォーラム  
 各国における男女格差を測る指数の一つ。「経済」「政治」「教育」「健康」といった4分野14項目の要素から構成されています。  
 出所: 列国議会連盟  
 日本のジェンダーギャップ指数は、先進国の中では最低レベルといえます。G7では最下位、アジア諸国に目を向けても韓国や中国・ASEAN諸国と比べ、日本が下位の結果となりました。

表3 「女性議員比率」ランキング(2010.6)

順位	国名
1	ルアンダ
2	スウェーデン
3	南アフリカ
4	キューバ
5	アイスランド
6	オランダ
7	フィンランド
8	ノルウェー
9	ベルギー
10	モザンビーク
中略	
87	キプロス
87	リベリア
87	ブラガアイ
88	シリア
89	パナマ
90	グアテマラ
91	アルバニヤ
91	ルーマニア
92	日本
93	モンテネグロ
93	セントルシア
93	トゴ
94	ベニン
94	インド

出所: 列国議会連盟  
 日本のジェンダーギャップ指数は、先進国の中では最低レベルといえます。G7では最下位、アジア諸国に目を向けても韓国や中国・ASEAN諸国と比べ、日本が下位の結果となりました。



堂々と他人に頼る権利がある」と教わる欧米のことも。

自由自己決定を「わがまま（?!）」と封じ込める日本と最も重要な人権と教える先進国。

ブラック校則や、教師による性虐待等、むしろ人権に反することが堂々で行われる日本の学校。

## 5 ジェンダー平等社会の実現に向けて一人一人に実践してほしいこと

(1) ダイバーシティ&インクルージョンが必要な真の意味を理解する。

「結果の平等より機会の平等」の時代から「機会の平等より、一人一人の弱点を支援することにより、可能な限り結果の平等に近づける」時代へ、それが公正（人権）であり、ひとびとの幸福実現の鍵。

(2) アンコンシャスバイアスの存在、自らの特権を自覚し、その視点からバイアス（偏見）を取り除くための制度を整備する。

(3) 真の人権を理解し、行動する！（最重要）

人権は個人が守るという以上に、国家が国民に保障するものという視点の欠如

人権と道徳の混同「みんなで仲良くしたいなあ」「やさしくされたら、うれしいなあ」は道徳であり、人権とは似て非なるもの！

人権は、生まれながらに誰もが持つっており、決して奪われることのない権利という視点の欠如。

(4) 今日から実践していただきたいこと

- ・勉強
  - ・アンコンシャスバイアスの自覚
  - ・意識改革
  - ・ストレスをためない生活（無理しない）
  - ・他人の目を気にしない
  - ・他人と比べない
  - ・欲を捨てる（競争しない）
  - ・人権のためには勇気を持って闘う（できないときは自分を責めずに、次のチャンス待つ）
  - ・ネガティブな考えは捨ててポジティブ思考をもつ
- 以上事務局で

編集しました。

おおさかAALA

600号によせて

## 仲間の心を繋ぐ機関誌活動

元副理事長 畑中英夫

機関誌「おおさかAALA」600号は、澤田有さんが、誰よりも喜んでおられるだろうと思います。

今から60年前、ともに私立高校に就職し、劣悪な労働条件とお粗末な教育環境に仰天しながら、それぞれの職場で教職員組合を組織して闘いました。

ある年の夏休み、澤田さんから、機関誌協会主催の宿泊機関誌学校への参加を誘われました。たしか城崎温泉での2泊3日、機関誌活動のそもそから実技のノウハウまでみっちり勉強しました。

そして、夜はそれぞれの職場の問題を交流し合い、労働組合における仲間の心を繋ぐ大事な機関誌活動を学びました。

時を経て、彼は私学教組

の専従となり情報担当としてその教訓をいかんなく発揮し、私は市会議員になって「市政報告」に生身の市民を登場させて、学んだことを生かすことが出来ました。

大阪私学退職者の会結成20周年記念誌（2018年）に寄稿された澤田さんの文章「青春再び」で、次のように結んでおられました。

「私退教のニュースが待ち遠しい。知的好奇心が刺激される。自分の要求と意思で、身銭を切って社会運動に参加する。草の根の活動の味わいがある。ここから抜け出せそうにない。「青春再び」の喜びがある」と仲間をつなぐAALA機関誌活動に今後も頑張ってください。

## 病からの教訓

30才代から腰部椎間板ヘルニアで苦しみました。が、元気で60才での市会議員引退まで勤めることができました。70才代で総胆管結石で胆嚢全摘、膵臓癌手術、膵臓全摘、肝臓も一部切除、しかし、シニア演劇に没頭。

一昨年7月、肝臓の癌細胞が増殖、余命宣告を受けるも自覚症状なく、「平和のつどいinとよなか」でシニア劇団の朗読劇に参加。

昨年1月低血糖症で緊急搬送され、今は訪問介護のお世話に。

主治医の警告を軽く見た報い。振り返って学んだ教訓は、「70才を過ぎたら決して自らの健康や体力について過信しないこと」。84才の悔恨です。





2022  
年度  
活動報告

大阪AALA第61回定期総会  
議案ダイジェスト

1. 憲法改悪・大軍拡阻止、野党共闘と岸田政権打倒の活動と国際連帯のとりくみ

①第8次国際署名「戦争するな!どの国も」

大阪AALAとして過去最高の2300筆を集めました。日本AALA全体で11000筆以上の署名をASEAN議長国カンボジアに届ける代表団に大阪AALAから4名が参加し、直接カンボジア外務省ASEAN事務局に手渡すことができました。

②「大軍拡、大増税に反対する請願書名」等  
全国的に展開される署名用紙をAALA機関紙と共に会員に届けました。

③平和友好団体との協力共同について  
各団体が主催する講演学習会や街頭宣伝などの諸行動にも参加し、協力共同の関係を築いてきました。

④大阪安保による月例の23淀屋橋宣伝  
2022年度もほぼ毎回AALAとしても参加し、弁士も務め、無謀な辺野古新基地埋め立ての問題や、地位協定の問題、カジノ問題なども訴えることができました。

⑤カジノに反対する連絡会「主催京橋駅宣伝行動」  
大阪AALAとしてほぼ毎回参加してきました。維新新政・市政の継承との選挙結果を受け、国はカジノ誘致申請を認定。国への抗議と誘致中止に追い込む宣伝行動を粘り強く続けま

す。

⑥ウクライナへ軍事侵攻を続けるロシアへの抗議行動  
6月に大阪AALAとして3回目となる在大阪ロシア総領事館への抗議行動。12月の京橋駅連絡路での抗議宣伝とエルシアターでの「ウクライナ支援の大音

楽会」に、AALA会員も参加。今年1月、急遽中止となったウクライナ情勢の学習会をAALAカフェとして再計画し実現する課題が残っています。

2. 学習と理論活動を重視したとりくみ

情勢の変化をつかみ、諸活動に活かせるために、日常的系統的な学習のとりくみに努力してきました。

①AALAカフェ  
コロナ感染のもとで実施できた少人数参加の学習会AALAカフェの概要を左の一覧に示します。

参加者は8〜10人。少人数ながら「リラックスできる空間」での学習会として定着し今後も続けます。

②英語で世界を読む会  
毎月1回、定期的に開催を続ける長寿の学習会です。世界情勢に対応したテーマで、輪読、翻訳、討論による学習です。参加者は6〜10人です。時にはその中から新会員を迎えるなど、「学習の継続」は会員拡大にも大きな役割を果たしています。

③情勢や各種課題の学習  
ミャンマー問題、日本の「入管法」問題、「朝鮮」問題、「慰安婦」問題などで学習しました。

④ジェンダー問題  
「ジェンダー平等」への叫びは世界的高まりを見せています。国際的にも重要な課題です。一昨年以来取組めていません。引き続き学習会の計画が必要です。

⑤オンライン会議・学習会  
昨年10月、第30回記念おおさかAALAカフェとして、単独ではじめてのオンライン講演学習会を開催。講師の田中靖宏さんは東京からスクリーン画面に登場しての講演でしたが、世界の中で「対立」を避け「尊重と協力」によって「平和の枠組み」を拡げるASEANの存在

AALAカフェ開催一覧

第28回2022年7月16日(土)  
「日韓関係のモヤモヤ・慰安婦問題からK-POPまで」講師・西野敏美さん(AALA会員)

第29回2022年9月11日(日)  
「ミャンマー史上最悪! 軍による弾圧と暴政」講師・原田正美さん(奈良AALA会員、大阪大学非常勤講師)

第30回2022年10月23日(日)  
「ASEANがきりひろく未来は?」講師・田中靖宏さん(日本AALA代表委員、国際部長)

第31回2023年2月19日(日)  
「AALAカフェと新春のつどい」「カンボジア訪問報告」/ (粕谷武志さん、堀内保孝さん、西野卓二さん、西野敏恵さん) 「つどい」落語・天神亭神山(かみさん) 演題・「ちはやぶる」「桃太郎」

第32回2023年5月14日(日)  
「北アイルランドの統合教育に見る分断国家の今と未来」講師・姜淳媛(カンスノン)さん(韓信大学教授)



感とその果たす役割の大きさを改めて確認できました。

### 3. 海外ツアー

海外ツアーがまだ厳しい中、昨年10月末、福井県へバスで一泊二日の国内ツアーを実現。ユダヤ難民が降り立った港・敦賀ムゼウム見学に加え、脱原発運動を続ける中野哲演住職との懇談で平和学習もしました。

### 4. 組織拡大

この一年間では、新会員の数の約3倍の退会者があり、組織上厳しい事態を迎えています。若い方々が参加したいと思うような取組みがカギです。会員を増やす課題は最重要課題です。

### 5. 機関紙の充実、改善のとりくみ

「多様な内容で面白い、楽しみにしている」と好評を頂いています。諸行動の自粛の中、海外活動も制限され、記事集めに苦勞しています。ぜひ投稿にご協力を。

### 6. 事務局体制の強化

事務所の「当番制」を検討し、できるだけ無人状態を少なくする。「事務局会議」の定

例化」を図り、可能なかぎり集団的な事務局体制をつくる。新しい役員の補充ができるよう引き続き努力します。これまでの活動の経過と教訓を受け継ぎ、情勢の新たな進展を踏まえ、以下の諸点を大阪AALAのこれからの基調として活動を進めていきます。

## 2023年度の活動の基調(案)

①ロシアのウクライナ侵攻はウクライナの主権と領土をおかす侵略行為であり、「武力による威嚇または武力の行使」を慎むように求めた国連憲章と国際法に明確に違反するものです。このロシアの行動を強く非難し、ロシア軍に軍事行動を即時停止し、撤退するよう求めます。大国主義と覇権主義を排斥し、民族自決権と主権を擁護し、闘う各国人民と連帯して、ロシアの軍事侵攻を停止させます。

また同時に、ロシアのウク

ライナ侵略を契機に9条改憲・軍事力強化、日米間の「核共有」論、非核三原則の見直し、さらに国会審議にもかかわらず「安保3文書」を閣議決定し「敵基地攻撃能力」を持つ米国製ミサイル爆買いなど、米軍と自衛隊の一体化強化を含む大軍拡を進め「戦争国家」への大転換を謀る勢力の暴走を国民世論を背景に阻止します。

②「核兵器禁止条約」が、今年4月現在68の国・地域が批准するに至っています。しかし世界で唯一の被爆国である日本が、依然としてその「批准」に背を向けつづけています。その姿勢を正し、条約を批准する非同盟・平和の日本をめざし、国内の平和・民主勢力との団結・連帯を強め奮闘します。

③AALA人民連帯機構、AALA人民連帯機構(OSPAAAL)に加盟する日本で唯一の組織である、日本AALA連帯委員会し、「核兵器のない世界の実現」に向けて、積極的役割を果たしている非同盟諸国民との連帯・交流活動を推進していきます。

④東アジアでの「友好・協力

条約」締結をはじめ、「東アジア共同体」づくりをめざす「国際署名」などの取組みを通じ、「世界の平和・友好・協力の枠組み」の先駆的な役割を果たしている「ASEAN」と傘下の諸国民との交流・連帯を推進していきます。また日本・韓国・北朝鮮の3カ国間の「北東アジア非核兵器地帯」化のため、必要な活動を展開します。

⑤明文改憲を表明し、非核・平和・民主主義に背を向けた菅政権の暴走をそのまま受け継いだ岸田自公政権に対して革新懇などの平和・民主諸勢力と連携し、改憲を許さず非核・平和を守る活動を進めます。とりわけ国政選挙での市民と野党の共闘を実現させるため、草の根の市民共闘に積極的に参加していきます。また、住民犠牲のカジノ誘致に邁進する維新府市政にストップをかけるため、保守層も含めたオール大阪の共同に積極的に参加し活動します。

⑥これらの活動を通して、大阪AALAの組織と会員の拡大強化を図り、引き続き機関紙活動の充実・強化と学習

会・講演会、文化活動など独自活動と共に、他団体との協力・共同により可能な範囲の多様な取り組みを紹介し、会員のより多くの希望に応えていくことを通じて会員の定着化を図ります。

5月28日(日)  
午後1時30分～  
第61回  
大阪AALA総会  
国労会館3階  
中会議室



「歴史の逆流」 601号・602号の続き

時代の分水嶺を読み解く

(朝日新書) を読む 最終会

長谷部恭男(憲法学者)、杉田敦(政治学者)  
加藤陽子(歴史学者)の鼎談

小林 保夫(弁護士) 寄稿

6 時代の分岐点

この国はどこに向かうのでしょうか。

(1) 加藤教授は「安倍元首相が殺害され旧統一教会と政治の関係が明るみに出て、政治と宗教団体との不適切な関係に焦点が当たったことで、今日の政治を、1930年代の政治の相似形としても理解しようのではないかと思いましたが、つまり、この国はこれからどこに向かう、という大事な岐路に今、立たされているのではないのでしょうか。」

(同上)と提起しましたが、これに対して、杉田教授は、「近年の国政選挙の票の推移を見ると、ほとんど『動き』が見られません。自民党に投票する人は何があっても常に自民党に入れるという傾向があり固定化している。そして、

最大多数を占めるいわば日本の『第一党』ともいうべき無党派層は、今回も全く動いていない。

あのような銃撃事件があつても、投票所に足を運ばなかった。つまり、無党派層が選挙に参加しなかったために自民党の票も増えなかったのだから、と国民の悲観的な反応を指摘しています。

さらに同教授は、「自民党のブランド力への信頼は、野党のブランド力への低評価と表裏一体です」、「自民党政権では、森友・加計・桜・統計改ざんなどいろいろな問題が起きま

与えているのだと考えられます」、「野党への支持も固定化して、今後の展望が見えません」と自問自答します。

長谷部教授は、「日本の政権政党の自民党はどうか。自民党は、『一つの政党』だと思われていますが、本当にそうなのか、よく分からないところがあります。・自民党もリベラルでもデモクラティックでもないし、果たしてパターティと言えるほど、政治家それぞれの志向が一致しているのか。むしろ政権を維持することだけを目的に集まっている中道勢力と言えるでしょう。」

安倍政権は、これまでの自民党政権と比較しても明らかに『右寄り』の特異な政権でした。安倍さんなき後、自民党が中道勢力の連合体に戻るのかどうか、これもある意味で分岐点ではないのでしょうか。」と論じます。

の識者が、どのように観察し、理解しているかを垣間見させてくれる点で、興味深いものです。

しかし、安倍、菅のような右寄りで反国民的な政権の後、首相候補として売り出されたのは多少とも国民に迎合する政策をかかげながら、自民党や財界の反感を買うと、とたんにこれらの政策を引っ込め、現在では、安易にもロシアのウクライナ侵攻に口実を借り、安倍等の路線をさらに極端におしすすめ、安倍等さえ成し遂げなかった大軍拡・大増税・原発推進の政策を打ち出し、右寄りに大きく舵を切った岸田政権を迎えた現在、日本は、まさに時代の分岐点に立つことになったのではないのでしょうか。

自民党・公明党やこれを補完する維新、国民などの極端な右派勢力は、岸田政権に対する支持率が低下し退陣を余儀なくされても、岸田政権の路線とその政策の成果を幸いとして、そのいつそうの推進をはかるでしょう。

ちなみに、新聞・放送などのマスメディアの世論調査における内閣の支持率と政党の支持率の関係を対照させて検討すると、内閣の支持率が低下しても、自民党などの政党支持率は大きな変動はなく、政権の顔を変えれば済むのです。残念ながら、まさに杉田教授のいう国民の「自民党のブランド力への信頼」は容易に揺るがないという日本における特異な現象の例を見る思いがします。

(2) 鼎談は、日本における小選挙区比例代表並立制といわれる選挙制度、政党助成金、国会審議のありかたなどに及びます。

現行の小選挙区制、政党助成金が自民党の多数支配の維持に役立ち、国会での審議を軽視し、重大事項を閣議決定だけでやってしまう「説明しな





い政治」、「議論なき政治」が横行している事態に強い批判が寄せられます。

実際、岸田内閣は、このたびの現行憲法の「専守防衛」の原則を根本的に変える大軍拡・増税政策への転換について、国民への説明、国会審議を経ないで、アメリカに報告され既成事実になってい

ます。この転換について、岸田内閣は、平然と、繰り返し「政府・与党内で十分な議論をした」ことで正当化しようとしています。

イギリスでは、ジョンソン首相が政府や議会に対して繰り返し嘘をついたということ、退陣を余儀なくされました。日本では安倍首相が国会答弁で「118回」も嘘を繰り返したにもかかわらず、結局退陣をよぎなくされるといふ事態は起こりませんでした。

加藤教授は、このような事態について、「この問題は安倍政治そのものの特徴というよりは、もう少し、根深いのかもしれません。安倍さんが退場した後、国会の軽視は変

わらずにつづいているからです。議論なき国会に対する一種の諦めも、国民の中に浸透しているのではないかと。それが、国会軽視をさらに助長するという悪循環になっているのではないのでしょうか。」と悲観的な観察をしています。

長谷部教授も、憲法87条が規定する「予備費」について、自公政権が、国会の承認を形骸化している事態に「財政民主主義」の根幹は国会による予算コントロールのほう

です。…この原則を国会が自ら放棄して、莫大な予備費を積み増して、政府が好き勝手に使うことを認めてしまっている。別の言い方をすると、現在の政権はある種、予備費に関する憲法87条を緊急事態条項のように使おうとしている。これは、緊急事態では帝国議会の承認なしに財政上必要な措置をとれるとした、

戦前の「緊急財政措置（旧憲法70条）」と同様の話です。そんな制度は現憲法にはないはずなのに、予備費を名目に政府が好きにお金を使える体制になってしまっている」と、

憲法的大問題であると指摘し、杉田教授も「行政権力の暴走を、無関心な国民が傍観するという流れを、このあたりで止めないと大変なことになりますね。加藤さんにいろいろご教示いただいた戦前の経験が、もう一度繰り返しされるようなことがあってはなりません。」と強く共感しています。

## 7「分断」の時代を

### 乗り越える

安倍元首相の国葬に際して、国葬のみならず家族葬にまで自衛隊の儀仗兵が用いられたことをめぐって、長谷部教授は、「これは憲法学者の樋口陽一さんが常々おっしゃっていたことです

が、日本国憲法は9条によって軍の正当性を否定し、それによって自由な公共空間を戦後の世界に生み出した。国葬で、安倍さんの偉大さを自衛隊に象徴させようとしたのだとすると、それは戦後の民主主義、立憲主義と真っ向から対立します。逆に言うと、安倍さん

が戦後民主主義や戦後立憲主義と対立する政治家であったことを国葬での自衛隊の役割が物語っている。また、家族葬にまで儀仗兵を出したことは、防衛相が実体だったことと相まって、典型的な縁故主義を物語ることになるでしょう。それで本当によかったか。」と断じています。

そして、鼎談は安倍元首相が戦後民主主義や戦後立憲主義と対立する政治家であったことを国葬での自衛隊の役割が物語っている。また、家族葬にまで儀仗兵を出したことは、防衛相が実体だったことと相まって、典型的な縁故主義を物語ることになるでしょう。それで本当によかったか。」と断じています。



この「総決算」は、安倍元首相の「反共」をかかげる政治姿勢に代表されるような「多様性を否定し、特定の価値観でもって社会を分断」してきた考え（杉田教授）、あるいは「安倍政治の『負の遺産』である『分断の政治』（加藤教授）をどう乗り越えていくかを真剣に構想する課題として取り組むことが求められていると締められています。

## 8あしがき

加藤教授は、本書について、「あどがき」において、新型コロナナやロシアのウクライナ侵攻などが引き起こした世界・日本の現状に対して「現在日本と世界の状況が転換期あるいは分水嶺の時代として位置づけられ、しかも、その向かう先が必ずしも人間の幸福にとって



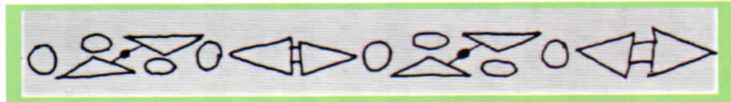
### カジノの抗議は続く

#### 4/14 知事選挙の結果を受けてか、カジノを含む大阪のIR 整備計画を政府が認定

日本で初めてのカジノ認定。賭博が公的に認められる禍根を残す決定。「カジノの床面積は3%に過ぎない、IRのほんの一部で問題ない」としてきましたが、IRでの儲けの80%がカジノからと見込んでいます。カジノなしでは成り立たない施設。標的は日本人、大阪周辺の一般市民、賭博で大阪の繁栄・・本当に恥ずかしい限りです。

望ましくないものに思えるとき、どうしたらその流れに抗することができるでしょうか。本書のタイトル『歴史の逆流』とは、たがが外れた時代の潮流、侵略・暴力の時代の流れに抗ってゆくための学知を詰め込んだ包括的パッケージを意味している、と私たちは考えています。」と述べ、このような課題についての3教授のそれぞれの専門知からの提起の意味を強調しています。

終わり



#### 今後の予定

5月9日(火) 18時〜  
第8回常任理事会

AALA事務所  
5月14日(土) 13時30分〜  
AALAカフェ

国労会館第1会議室  
5月28日(日) 13時30分〜  
第61回大阪AALA総会

国労会館3階中会議室  
6月13日(火) 18時〜  
第1回常任理事会

AALA事務所

「戦争するな!どの国も」国際署名が会員のみなさんからどんどん届いています。署名と一緒に近況報告や心のこもった添え書きもあり、事務局は励まされています。1筆、2筆でも結構です。引き続き国際署名をよろしく願っています。

#### お知らせ 第32回

おおさかAALAカフェ  
日本コリア協会大阪 協賛

#### 「国家の分断を越えて」

お話 姜 淳媛さん  
(韓信大学教授)

日時 5月14日(日)

13:30~16:00

会場 国労大阪会館  
第1会議室

会費 1000円

(資料代、コーヒー・茶菓子代)



訂正 前月号6ページ掲載の国連事務総長の名前が間違っていました。正しくは「アントニオ・グテーレス国連事務総長」です。

#### 文化欄

川柳

聡太六冠つぎの狙いは名人位

トマホーク一つ保育所二か所建つ  
軍核で民の命は守れない

大阪市旭区 近藤 正

異次元の軍事費なるや誰が出す  
地下深く生き残るは司令部か  
外交で敵をつくらぬ知恵を出せ

大阪市中央区 大杉 晃

自衛隊司令部だけは地下安全  
ミサイル基地造り相手を呼び寄せる  
基地周囲

我が土地なれど認可取れと

四條畷市 西川 ひろし

大阪AALA  
へのお誘い

会費 月800円(年9,600円) (25才以下は年3,000円) ※入会金 500円  
\*会費の会計年度は毎年4月から翌年の3月です。半期毎に4,800円ずつご入金をお願いします。  
\*会費の中には機関紙代も含まれています。月初めに大阪AALAと日本AALAの機関紙を郵送いたします



発行

大阪アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 (大阪AALA)  
Osaka Asia Africa Latin America Solidarity Committee

〒540-0004 大阪市中央区玉造1-6-11 黒石ビル3F

TEL 06-6768-5360 FAX 06-6768-5361

E-mail: osakaaala@nifty.com HP: http://osakaaala.la.coocan.jp/

機関紙・宣伝委員会

